

## 小国町立病院経営強化プランの検証（令和5年度）

### 1 収益的収支の状況

#### (1) 総括

年延べ入院患者数は、8,548人で前年度に比べ620人の増加となりました。人口減少が続いていることに加え、新型コロナウイルス感染症の発生により令和2年度以降は入院患者数が減少していましたが、令和5年5月8日に感染症法の5類に移行後は、町内の在宅や介護施設からの患者移動がしやすくなったことからサブアキュート患者が増えたことが要因となりました。

病床利用率は、令和4年度と比べ3.7%増の51.1%となりました。令和6年3月29日までの病床数45床に対して平均入院患者数は23.4人であり、医療機関からのポストアキュート患者などの転院が減少傾向にあることも要因の一つにあります。転院受入患者の減少は、人口減少により患者数が全体的に減少していることのほか、比較的軽度な症状による高齢者の救急搬送後に、医療機関への転院ではなく介護施設や在宅復帰することが増加しているためと考えられます。

外来では、新型コロナウイルス感染症の発生による患者の受診控えに歯止めがかかり増えた一方で、同感染症関連の外来受診者が減少したことや民間クリニックの新規開業などによる患者の流動により、年延べ外来患者数は、33,766人となり、前年度に比べ1,156人の減少となりました。

#### (2) 収益

入院収益は、入院単価の上昇と患者数の増加により、279,684千円で令和4年度と比べ42,974千円の増となりました。

外来収益は、患者1人1日あたりの診療単価は上昇しましたが、患者数の減少により前年度から19,037千円減の224,006千円となりました。

一般会計からの繰入金は、医業収益が増加したものの、新型コロナウイルス感染防止関連事業の見直しにより補助金等の医業外収入が減少したことなどをカバーするため、500,000千円に達し高水準が続いています。

医業収益と医業外収益を合わせた経常収益は1,102,275千円となり、令和4年度に比べて21,946千円の増となりました。

#### (3) 費用

費用面においては、抑制を図りましたが、医師数の増加による職員給与費、5類移行以前は国から支給又は全額負担となっていた個人防護具や薬などの新型コロナウイルス感染症用品の病院購入、原油高騰に伴う光熱水費の増加といった増要因が生じ、医業費用、医業外費用を合わせた経常費用では、1,071,373千円と、令和4年度に比べて36,017千円の増となり、総額での抑制は果たせませんでした。

#### (4) 収支

令和4年度に比べ、収益の増加を超える費用の増加となり、純損益では、27,898千円の黒字を計上しましたが、黒字幅は、前年度より15,931千円減少することとなりました。

### 2 欠損金の状況

累積欠損金は、令和2年度において108,178千円まで拡大しましたが、令和3年度から純利益を計上し、令和5年度で解消することができました。令和5年度決算では、24,424千円の未処分利益剰余金を計上しました。

### 3 資本的収支の状況

資本的支出の建設改良費は、老朽化した設備や医療機器について更新事業を行いました。医療機器整備につ

いては、交付税措置のある過疎債及び病院事業債の活用を図りました。令和5年度の企業債償還金は、87,762千円で、現借入金の償還ピークは令和7年度となっています。

資本的収支において108,423千円の収支不足額が生じ、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

#### 4 目標の達成状況

小国町立病院経営強化プランにおいて設定した目標については、経営指標に係る数値目標において13項目中4項目、病院機能に係る数値目標においては9項目中6項目の達成となり、前年度を下回る結果となりました。

5 数値目標との比較表

別紙のとおり

【 数値目標との比較 】

上段は実績、下段は計画、○は達成、×は未達成

項 目	実績			経営強化プラン計画期間（上段実績、下段計画）					経営 指標		
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
経営指標に係る項目	(1) 経常収支比率 (%)	98.0	92.7	98.8	○ 106.0 98.9	○104.3 98.4	○102.9 100.0	100.9	101.2	106.5	
	(2) 修正経常収支比率 (%)	62.3	57.8	66.8	○ 68.8 60.4	× 60.8 63.4	× 55.9 64.1	64.7	65.3	-	
	(3) 医業収支比率 (%)	69.6	66.2	60.6	○ 75.4 66.3	× 63.3 66.6	× 58.8 67.3	68.0	68.6	74.6	
	(4) 修正医業収支比率 (%)	95.7	90.5	82.8	× 82.9 96.4	× 68.9 96.0	× 64.0 96.8	97.5	98.3	-	
	(5) 他会計繰入金対経常収益比率 (%)	36.4	37.7	32.5	○ 35.1 39.0	× 41.7 35.6	× 45.7 35.9	35.8	35.4	34.5	
	(6) 職員給与費の医業収益に対する割合 (%)	85.1	90.3	96.1	○ 75.6 88.6	○ 73.7 87.7	○ 81.7 86.8	86.0	85.1	77.3	
	(7) 病床利用率 (一般病床) (%)	65.1	53.4	43.3	○ 54.6 49.8	× 47.4 60.3	× 51.1 59.5	59.1	75.9	64.0	
	(8) 一日平均患者数	入院 (人)	35.8	29.4	23.8	○ 30.0 27.4	× 21.7 27.1	× 23.4 26.8	26.6	26.6	48.0
		外来 (人)	139.3	131.6	105.7	× 125.4 144.6	○ 143.7 142.6	× 120.5 141.2	139.8	132.8	126.0
	(9) 患者1人1日当たり診療収入	入院 (円)	24,186	26,794	28,537	○ 28,002 28,000	○29,857 28,000	○32,719 28,000	28,000	28,000	25,458
		外来 (円)	6,817	6,950	7,397	× 7,268 7,400	× 6,960 7,400	○ 7,650 7,400	7,400	7,400	8,513
(10) 薬品使用効率 (%)	109.5	101.6	100.3	○ 103.5 98.3	○ 100.0 99.3	× 89.4 98.1	99.1	97.9	106.9		
(11) 後発医薬品使用割合 (%)			86.2	× 89.4 90.0	○ 90.3 90.0	× 92.3 93.0	93.0	95.0	-		
病院機能に係る項目	(1) 病床数	55	55	55	○ 55 55	○ 45 45	○ 45 45	45	35	-	
	(2) 在宅復帰率 (%)	69.6	62.0	85.0	○ 83.5 80.0	○ 84.5 80.0	○ 80.3 80.0	80.0	80.0	-	
	(3) 臨床研修医の受入件数	10	10	3	○ 6 6	× 5 6	○ 7 6	6	6	-	
	(4) 訪問診療件数	1,066	1,146	1,177	○ 804 800	× 812 850	× 714 900	950	1,000	-	
	(5) 訪問看護件数	4,342	4,739	5,101	○ 4,558 4,500	○ 4,979 4,500	× 4,345 4,500	4,500	4,500	-	
	(6) リハビリ件数	7,177	9,936	7,838	× 7,623 8,000	× 4,668 8,000	× 4,433 8,000	8,000	8,000	-	
	(7) 地域医療連携室相談件数	53	50	56	○ 78 55	× 53 55	○ 71 60	60	60	-	
	(8) 紹介件数	779	750	638	○ 771 650	○ 900 680	○ 843 680	700	700	-	
	(9) 逆紹介件数	1,354	1,192	1,055	○ 1,138 1,055	○1,151 1,080	○1,138 1,080	1,100	1,100	-	